opusdei.org

「意義ある人生を考 える|

ニューヨークで行われた、 シューラー・ホールSchuyler Hall学生センター主催の人生 講座「日常生活の意味を考え る」に、学生や若い社会人が 多く参加した。

2004/06/02

ニューヨークは世界でも有数の活気 に満ちた街です。ところが、何処へ 行っても人々は忙しく、人生の意味 をじっくり考えたり、充実した人生 を送るために何をすべきかを考えた りする余裕がありません。このよう な人々のため、シューラー・ホール 学生センターは、「日常生活の意味 を考える」と題した講座を主催し、 学生や若い社会人が多く参加しまし た。

講演したのはデイヴィド・ギャラ ガーDavid Gallagher教授です。アメ リカ・カトリック大学哲学教授で、 今はニューヨークで働いています。 長年、大学生と付き合ってきた経験 から、この講座を思いつきました。 「私は、何百人もの大学生と何年も 接してきました。学生の多くが、人 牛の意味をゆっくり考える時間が欲 しいと訴えていました。そこで私は 考えました。友情、徳、仕事と余 暇、そして神など、人生で避けて通 れない問題についてガイドラインを 示し、学生を助けることができない ものか…とね。|

そうして出来たのがこの講座です。 講話と質疑応答からなる、5回シ リーズです。テーマは、「自由と自 己決定-人生プランをつくる」「生 きることは真剣勝負-仕事と余暇の 両立」「人のために生きる-友情と 充実した生き方」「徳を身に付ける ー目指す理想像」「神と人生の意 味」、以上の五つです。

講話は、机上の空論にならないよう に、実践的な内容になっています。 ギャラガー教授は次のように説明し ています。「この講座が、単なる素 **晴らしい学説の紹介に始終しないよ** うに気を付けました。理論には触れ ますが、目指しているのは、もっと 具体的なことです。将来を設計する ための精神的な道具を提供して、参 加者が自分自身の人生を考えるよう に励ますことです。『今日から人生 に対する見方が変わった!』と言え ば大成功です。あるいは、『ある テーマについて、じっくり考えた

い』と考え始めたら、しめたものです。」

参加者は、講話と講話の間に思いついた疑問について考え続け、本を読んで調べることができました。また、大きな図書室が開放され、ビクトル・フランクルの『意味を探す人間』、C. S. ルイスの『人間廃止』、トマス・アクィナスの『異端反駁』などが紹介されました。

自由
ニューヨーク大学で数学を専攻する
サム・フライドは、この講座からして
さな収穫を得て、次のようにごからして
されました。「自分の人生につ具体した。
「自分の人生につは、
「もかけった。
「お出来ました。「特よい・リーは、「特よい・リーは、「がよい・リーは、「がよいで自由時間についたとがいてくれました。充実になった。
を投じてくれました。
ものでは、自由時間を活用す

ることがとても大切だと分かりましたよ」、と教えてくれました。

参加した人の多くは、次に友達を 誘って参加しました。どうして人生 の意味に関する質問が大切ですか? 教授は次のように答えています。

「自分の人生について考えない人、 自分が何処へ行こうとしているかを 知らない人は、周囲の状況に人生を 左右されることになります。真のな 立、外部の状況に左右されるで は、外部の状況に左右されるで は、外部のではなで で、自分自身が『決める』こと で、状況に流されるのではなで、 では自己の意思決定により状況に立ち 向かって行くことに、自由の真価が 発揮されるのです。」

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/yi-yi-aruren-sheng-wokao-eru/ (2025/11/21)